



しみずっ子だより

「本物に学ぶ」

校長

藍原 万里子

例年に比べ早い入梅でしたが、梅雨の晴れ間が多く、プールから子どもたちの大きな歓声が聞こえてきます。一学期も早いもので、長い夏休みを迎える時期となりました。

さて今学期は、「本物に学ぶ」大変貴重な経験をさせていただき



きました。三年生が理科の学習で、県内唯一の養蚕農家を訪問し、蚕の様子や繭について教えていただきました。五年生は、「バケツ稲」を農協の方々に指導していただきながら育てています。また、田んぼには、今年も農家の方々に力を借りながら日本の米作りを学習しています。農家の方々の知恵と努力についても学んでいます。さらには、三年生の音楽の「リコーダー」や一年生の「鍵盤ハーモニカ」などの専門家との学習にも取り組んでおります。六年生は、一学期最後に、『鎌倉』に出かけます。実際に歩いて学ぶ歴史学習です。自分たちで見学場所や時間等の事前の計画を立て、そして友だちと協力することの大切さを学ぶよい機会になると思います。

このように、できる限り今後とも、「本物に学ぶ」学習を大いに取り入れていきたいと考えています。

もうすぐ、夏休み！夏休みの計画もご家族で話し合われているのでしょうか。子どもたちの心はずでにそちらにむいているようです。夏休みにしかできない挑戦をして、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと願っています。夏休みには、いろいろな人との出会いが待っています。この頃、地域の方から「子どもたちの挨拶がとてもいいですね。」とお褒めの言葉もいただいています。挨拶を通して人とのつながり、新しいことに気づきながら、また一歩成長してほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、一学期が無事に終わります。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

児童会集会

児童会担当

小林 和恵

六月二十日(木)に『しみずっ子 楽しくやるなら最後まで』のスローガンのもと、「清水ドリームフェスティバル2013」が開催されました。クラスごとに工夫を凝らした楽しいお店が開かれ、そのお店を楽しんでまわる姿がたくさん見られました。また、自分の仕事に一生懸命に取り組む姿や、下級生に優しく接する姿から、フェスティバルの目的が十分に達成されたことを感じる一日となりました。

多くの保護者、地域の方々に参観いただき、また、貴重なご意見・ご感想をたくさんいただきましたことに、心より感謝申し上げます。次の活動に向けて活かしてまいります。

校内研究について

校内研究主任

関根 瞳

いよいよI・S再認証を十一月に控え、今年度も「しみずっ子の光り輝く安心・安全な学校」を校内研究テーマに掲げ、日々取り組んでいます。具体的には、「命を大切に、自ら考えて行動ができる児童をめざして」とし、どうしたら子どもたちの安全意識が向上するか、認め合う心、自分を大切にすることなどの心の安心が高められるかについて、授業を通して研究を進めています。一学期には、六年生が「心肺蘇生法」を、一年生が「危険から身を守る方法」を学びました。

この研究は、防犯ブザーの携帯、ヘルメットの着用、交通ルールの徹底など、ご家庭の協力も欠かせません。子どもたちが安心・安全に過ごせるように、学校・家庭・地域が連携していききたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。



交通安全教室

安全担当

日下 浩一

七月四日(木)に交通安全教室が行われました。教室は、厚木警察署員や市の交通課の方、また交通指導員さん、交通安全の会の方々にご協力をいただき、交通安全の基本的なルールや正しい歩行のしかたや自転車の乗り方について、校庭に模擬道路を作って行われました。

一・二年生は、校庭で歩行訓練を行いました。横断歩道の安全な渡り方や、道路の歩き方について、みんなで実際に行いました。

三・五年生は、校庭で自転車の正しい運転のしかたを行いました。狭い道や横断歩道、左右の確認のしかた、障害物の避け方を教えていただきました。

四・六年生は、教室で映像を使った危険予測の学習をしました。

これから夏休みに入ります。子どもたちだけで外に行くことも多くなります。もう一度、交通ルールを確認し、安全に過ごして欲しいと思います。

全国大会 出場

自転車担当

日下 浩一



七月六日(土)に横浜文化体育館で第四十四回神奈川県自転車競技大会が行われました。

大会では、交通標識などの学科試験、路上での安全な走行、また自転車の技能走行の三つの内容で行われました。各チームの選手四名の合計得点で競い合いました。

大会は、大きな緊張感の中で行われ、選手はみな、真剣な表情で、競技に臨んでいました。

競技大会の結果は、神奈川県第一位でした。念願の優勝を勝ち取り、選手、補欠、応援者、また指導に携わっていた方々みんなで、優勝の喜びを味わいました。キャプテンの六年 Mさんは「清水小の誇りを背負い、優勝できたことがとてもうれしい。全国大会に向けて頑張る」と話していました。

大会まで、自転車競技の指導をしていただいた地域の交通安全指導員のみなさまに感謝致します。八月七日(水)の全国大会に向けて、がんばっていきます。

一学期の教育活動から

一年生 こうえんたんけん



六月二十四日(月) 生活科の学習で公園探検に白根公園と中村公園に出かけました。公園にある遊具で遊んだり、広場で思い切り体を動かしたりして楽しく過ごすことができました。

公園に行く途中にはたくさんさんの交差点がありました。しっかりと右左右を確認して横断歩道を渡ることができました。

公園探検をもとに、公園での危険な場所について話し合ったり、知らない人に声をかけられたことを想定したロールプレイングの学習を行い、身の守り方を勉強しています。

二年生 清水ドリムフェスティバル

六月二十日(木)のフェスティバルで、二年生は初めてお部屋さんになりました。その時の子どもの感想です。

二組 H Y

今日はフェスティバルでした。二年生以上はお店をひらいて、前はんとこうはんに分かれてお店をやります。二組は、つり、ボーリング、たからさがしをやりました。わたしはたからさがしです。たからさがしは、さいしよはぜんぜんおきやくさんがきませんでした。でも、あとからおきやくさんがいっぱいきてくれてうれしかったです。あと、おきやくさんになるときもすぐたのしかったです。

三年生 学区探検

三年生になると、新しく学ぶ教科が多くあります。その中の一つの社会科では、最初に学校のまわりのことを知るために学区探検を行いました。及川方面・睦東中方面・中村方面・田園方面と、四回に分けて広い学区をまわりました。交通量の多い道の安全な歩き方を学んだり、出会った地域の方にお話をしていたり、子どもたちは、学習以外にも貴重な経験をすることができました。

一組 M E

ぼくは、たんけんので、知らない所にいっぱい行きました。いろんな物を見つけたので、いっぱいメモをしました。ぼくがいんしようにのこったのが、かいこをかっている農家の方にお話を聞いたことです。かいこをさわってみたら、ぶにぶにしていました。

四年生 環境学習

四年生は、理科のツルレイシの学習や社会科の水やゴミの学習を環境学習につなげ、職員室前や図工室前でグリーンカーテンに挑戦しました。子どもたちは、インターネットなどでグリーンカーテンを調べ新聞にまとめました。ツルレイシだけでなく、四角豆、西洋アサガオ、パッションフルーツを育て、二学期まで花や実で楽しめる工夫をしました。

四組 M T

緑のカーテンは一石二鳥です。部屋の温度も変わり涼しくなるし、実もでき、花も咲くので得をした気分になります。

五年生 命の大切さ

一学期の学習では、命の大切さについて考える活動がたくさんありました。

五年生の教室には、種もみから育てたお米の苗、理科の観察のため育てているインゲンマメ、そしてメダカと、小さな命がたくさん並び、その中で子どもたちは毎日多くの発見や感動を味わってきました。中でも、一人一人が持ち帰ったメダカの卵が孵化したときには、大喜びで報告してくれた子どもたちがたくさんいました。

また、「人の誕生」の学習では、赤ちゃんがこの世に生まれてくるまでのことを学びました。養護教諭による授業では、生まれたときと同じ重さの人形を抱かせてもらう体験を通して、お父さんやお母さんからの愛情を味わい、命の大切さについてじっくりと考えることができました。

六年生 ISS再認証

ISS再認証という大切な年に最高学年である六年生は、その誇りと責任の大きさを感じながら本格的に始動しました。

まずは自分たちがISSについてしっかり調べました。日本では現在三校が認証取得をしているなど、三年前とは変わっていることもあるからです。そしてわかったことや清水小学校での現在の取組などを、「ISSパンフレット」にまとめ、再認証への思いがさらに強くなりました。

四組 T I

ぼくは再認証はとても大事だと思います。グループ、クラス、全校、みんなで協力して再認証をつかみたいですね。調べてみて、三年前の先輩たちがとても努力したんだなと思えました。先輩たちが認証してくれたISSをこの手で受け継ぎたいです。

夏休みの過ごし方

児童指導担当 井上 章

二十日から長い夏休み(四十四日間)に入ります。子どもたちにとっては自分の時間や自由な時間が増えます。毎日の生活のリズムを崩さないようにしっかりと計画を立てさせ過ごすことと、一日の中にお手伝いの時間を作り、家族の絆を深められるといいですね。地域の行事等に参加したり、色々なことに挑戦したりして、有意義に過ごしましょう。子どもたちが様々な場面で活躍できるように期待しています。

また、子どもたちが公共の場に出ることが多くなると思っています。公共の場でのルールやマナーについて学ぶことや、「善いことと悪いこと」の判断力をしっかりと身につけさせるよい機会です。学校でも日々指導を重ねていることですが、夏休み期間中は家庭・地域の皆様のご指導・見守りをお願いいたします。

近年、ネット端末に関わる痛ましい事件が多発していることと本校でもネット端末による友だちへの誹謗中傷があったため、先日、保護者・職員・地域の方を対象に「サイバー犯罪防止教室」を開きました。厚木警察署スクールサポーターから、ネット端末(携帯電話・スマートフォン)・携帯ゲーム機・パソコン・音楽プレーヤー等を持たせることで子どもが被害に遭う、友達へ対する誹謗中傷を書き込むことからのいじめの加害者になってしまうなどという話をしていたいただきました。現在、インターネット環境が子どもたちの遊び場になっている中で、子どもたちの軽率な行動が犯罪被害や加害者になってしまっています。一番近くにいる大人が子どもへのネット端末の使い方にもっと関心を持たなければならぬことを教えていただきました。ご家庭でもご指導をお願いいたします。

身も心も大きくなったしみずっ子が九月二日に元気に登校できることを教師一同、楽しみに待っています。

お知らせ

☆校地内環境美化清掃について

夏休み中の八月二十四日(土)にPTA美化清掃があります。校地内の除草・樹木の伐採・側溝掃除をする予定です。(雨天決行)

八月二十三日(金)午前八時三十分以降に、学級連絡網・携帯メール・ホームページでお知らせします。

